

## 第39回日本ストーマ連絡協議会 議事録

日時：平成 30年7月31日(火) 17:30-18:30

場所：アルケア株式会社 会議室

進行：ストーマ用品セーフティーネット連絡会 当番幹事 アルケア株式会社

議事：ストーマ用品セーフティーネット連絡会 副当番幹事 コンバテック ジャパン株式会社

参加：JSSCR-前田耕太郎、幸田圭史、後藤百万、大村裕子 ※敬称略

JOA-谷口良雄、川村正司、須田紗代子

OAS-福元真一(進行)、田代浩一(議事) 合計9名

※配布資料：JSSCR「平成30年度台風7号及び前線等に伴う大雨による災害」について(添付①)

JSSCR・OAS合同会議「平成30年度台風7号及び前線等に伴う大雨による災害」の対策について(添付②)

OAS 直近の災害支援報告(添付③)

議題：

### 1) JSSCRより

幸田：台風7号の災害について、特に物品が不足しているとの情報はなく、多少の不足は病院や販売店と連絡をとり、すぐに解消したとの報告を受けている。

大村：7/11(水)にOASとの緊急会合の場を設けた。販売店の被害はほとんどなく道路の復旧も早かった。避難所にいる人に連絡を取ろうとしたが、人命救助を優先しておりその時点では必要はないとの判断であった。TV・ラジオ等で装具支援の情報を流そうと提案するも、現地では大丈夫との事。

### 2) JOAより

谷口：災害救助法が次々と追加され、適用地域が拡大していったが、特に問題はなかった。災害発生後7/18に全国各支部に状況再確認をしたが、それほど被害は広がっていない。2018/6/2(土)~3(日)に愛媛県松山市にて全国大会を開催した。参加は170~180名くらい。2019年は東京都で50周年記念大会を開催する予定。よろしくお願ひしたい。

### 3) OASより

福元：今年度当番幹事はアルケア株式会社(福元真一)、副当番幹事はコンバテック ジャパン株式会社(田代浩一)が務めさせて頂く。直近の災害支援報告になるが、「平成30年大阪府北部地震」では、当該地区の販売店は機能しており、被災オストメイトへの支援では、ホリスター社のみ1名に無償提供を実施した。「平成30年7月豪雨」では、災害直後より当該地区の代理店23社48支店はほぼ被害が無く通常営業可能であることを確認。被災オストメイトへの支援では5名(アルケア2・コロプラスト2・ホリスター1)に無償提供を実施した。

大村：無償提供を受けた方の居住地(県名)を確認できれば何らかの支援ができるのではないかと。

後藤：自己導尿カテーテルも無償提供の対象品目にできないものかと思うが、カテーテル使用の被災オストメイトを特定するのは困難であろう。

須田：ストーマ外来での災害情報・対応はどうなっているのか？病院での備蓄は？

大村：まだ徹底されていないのが現状。

川村：3・11の時よりオストメイトの自己防衛・災害に対する意識は高まっている。

須田：役所・大病院で備蓄はできないのか？できれば1か月分。

後藤・前田：大学病院は予算や在庫スペースの問題があり不可能だが、財政状況がよい市・県立病院は？モデルケースを作る方がよいのではと思う。期間はせめて1~2週間が適正。

大村：毎年厚労省から出されている身障者の数は、手帳取得者の数なので、一時的ストーマは相当数いると推測されるが、はっきりした数は把握できていない。現在、JSSCRとしても一時ストーマ数の調査を検討している。

須田：今回の台風7号でも自ら手を上げない(申し出ない)人が潜在的にはいるのではないかと。

川村：この制度を各支部に再確認する必要がある。

※次回開催日、2018年11月27日(火)17:30アルケア社で開催。

以上

## 資料1 「平成30年度台風7号及び前線等に伴う大雨による災害」について

### 各ブロック代表からの報告

#### JSSCR 中国

連絡網を使って中国地方の情報収集をしている。被災県である岡山、山口からは自主的に報告があり、どちらも昨日の時点では大きな問題なく経緯している。広島は避難所での初動を変更して初めての被災、こちらも大きな問題は今のところなし。

流通が寸断されていること、断水地域が少なくないことが問題か。

行政はやはり人命の優先順位が高く、そちらにマンパワーを取られている。

中国地方県代表と連絡を取り合っている。行政、業者、JOA、各県のWOCと連絡を取り情報収集中。

広島県ではティーエスアルフレッサというディーラーが大手、在庫を持っていると思われる。

避難所では保健師がオストメイトの情報を収集中。広島の地方の市町村では浸水、土砂災害、呉市、三原市、尾道市と断水地域が広範囲にあり、トイレ環境は厳しい。

主要の交通機関、JR. 高速道路、国道と土砂や陥没で遮断され、復旧に相当期間を要する、流通が厳しい状態。

#### JSSCR 四国

四国では、愛媛の一地区でウロストーマ用の装具が足りないという話があったが、近隣地区でなんとかカバーできている。他の地区にも投げかけているが、今の所返答はなし。装具という特性から考えて、交通遮断がどれだけ続くかが問題で、今後注視する必要がある。

**香川県**：香川大学病院のストーマ保有者の方の被害情報は今のところなし。西が被害が大きいようなので、香川県内の皮膚・排泄ケア認定看護師で作成している災害対策ワーキングのメンバーにも被害状況を確認している。四国4県のWOCに一斉メールをして被害状況の確認をしている。

**高知県**：高知（高速道路）が土砂崩れで流されて不通で、岡山、高松、徳島、松山とは分断されている。空路は繋がっている。

被害の多かったのは高知県東部、西部で、東部は問題なさそうである。西部（愛媛県境）では孤立しているストーマ患者さんが2名ほど、一人は予備装具あり、一人は連絡が取れない状況と地元のWOCNから情報が入っている。高知の主なる代理店のシーメックへは、現在、困っているという個人連絡はないとのこと。ただし、交通事情が悪いため装具の納品が通常より送れることを予測しており、いつものように装具を注文してこられる患者さんはそれを聞き少々焦っているとのこと。西部以外は被害も浸水も少く、日常を過ごすことができている。

今後、装具がシーメックへ納品され、県西部への配達ルートがどうなるかが問題か。

**愛媛県**：愛媛県WOCNのラインで作成している「みかん災害対策チーム」を活用し、東予地区・中予地区・南予地区のWOCNの安否確認と被災状況を確認。東予地区、中予地区は問題ない状況、高知県に近い南予地区のオストメイト（尿路ストーマ）の方が、住宅が土砂崩れで被災にあい、ストーマ装具がない状況だということが分かった。被災地に近い施設のWOCNよりDMATを通じて、ストーマ装具の対応。

その後、ダンサックの尿路ストーマ装具を使用していることがわかり、直接ダンサックにストーマ装具の手

配（この時点でストーマ装具の対応が1件ということもあり、直接装具の支給をお願いした）。被災地である吉田町の患者の対応については、交通規制などもある状況、その近辺の患者で困ったことなどあれば、連絡をもらうこととした。

また、災害拠点病院でもある県立中央病院の WOCN と相談し、被災地である宇和島市立吉田病院に DMAT が行くという情報があり、吉田病院の連携室に対応をお願いし、ストーマ装具を DMAT を通じて、渡している。大洲市については、WOCN がいない地域でもあり、ストーマ装具がないと近隣の病院に行った時にどうしたらよいか、また DMAT より、被災地でストーマ装具をストックしているところがないだろうという情報提供依頼あり。「市立大洲病院」「大洲中央病院」の連携室に相談し、ストーマ外来を受診していない高齢患者や自己導尿をしている患者が、ストーマ装具やカテなどで訪問するかもしれないので、ストックを置いて欲しいと依頼した。大洲市のストーマ保有者のトラブルや相談窓口は、被災地に近い市立八幡浜病院の WOCN をお願いをし、対応していただくように依頼。

ストーマ装具を被災地に届ける方法として、ヤマト運輸は、被災地である吉田町、大洲への運送はお断りされている状況、愛媛大学、県立中央病院、松山赤十字病院の DMAT も、現地に出向いているのでお願いできないなどの問題があました。

各運送会社に連絡をし、ゆうパックで「市立大洲病院」「大洲中央病院」にストーマ装具と自己導尿カテを郵送した。愛媛地区のストーマ装具販売店に連絡をし、南予地区を中心にストーマ保有者の安否確認とストーマ装具で困ったことなどあれば、連絡をいただくように依頼。

吉田町でストーマ装具残数が少ないオストメイト1名、連絡のとれないオストメイトが3名いるという情報あり。ストーマ装具は販売店の方と相談し、郵送可能な場所に配達してもらい、取りに行ってもらおう。また、連絡のとれないオストメイトに対しては、西予市野村病院の WOCN が市役所の方と連絡をとってもらっている。

**徳島県**：現在徳島県では大きな被害情報はなし。

## JOA 谷口会長からの報告

**呉市**：被災地の会員に電話確認したところ困っていないとのこと。また、非会員が困っているという情報もなし。

**岡山県**：石井支部長宅の近くの山が崩れた。現在は避難所から自宅に戻っている。倉敷市真備町には会員は不在。近くの販売店にセーフティネットの対応を問い合わせ。検討するとのこと。

**広島県**：現状は被災した人はいないが、近海の災害は未曾有で広範囲に及び、全てのインフラが機能していないため今後新たな被災者が出てくる可能性がある。復旧には長期化が予想され、避難生活の中で新たに装具確保の問題が出て来る人も予想される。

行政に対し、ストーマ用品セーフティネット連絡会の救済内容を伝え、非会員にも情報が伝わるるように配慮をお願いする。それと、被災オストメイトがいた場合、トイレや装具交換に必要な場所と水の確保にも配慮をお願いして欲しい旨依頼。

認定看護師の方から連絡があり、会員の方々の情報を交換。業者の方々とも連絡を取り、今のところ、被災されている方の情報はない。

## JSSCR、OAS 合同会議

『平成 30 年台風第 7 号及び前線等に伴う大雨による災害』の対策について

日時：2018 年 7 月 11 日（水）13：00～13：30

場所：東京オストミーセンター

出席者：日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会 災害対策委員会 大村、靄山

ストーマ用品セーフティネット連絡会

福元（アルケア）、田代（コンバテック）、中村（ホリスター）、森田（コロプラスト）

- 配布資料
1. JSSCR 災害対策委員会～各地からの報告
  2. OAS～H30.7 豪雨に伴う被災地域販売店の状況

### 議事

1. JSSCR 災害対策ブロックの連絡網を通して、7 月 9 日より報告がはいつており、各ブロックの被災状況ならびに支援要請などについてまとめた。（資料 1 参照）

2. 一部、通行困難な道路、渋滞なども発生しているため物流の遅延はあるが、交通機関も普及しつつある。中国、四国ブロックのストーマ用品販売店は社屋などに大きな被害はなく、通常営業ができています。基本的に販売店の配送、物流の拠点は被災を免れる配慮がなされており、今回もこれらの拠点には被害が出ていない。現在までに、販売店から 4 件の支援を実施している。病院でストーマ用品を渡しているケースもあり、現時点では個別対応ができており支援物資による対応は不要と思われる。現在、各販売店ではストーマ保有者に連絡をとる作業をしているところである。今後、被害の拡大ならびに支援要請があった場合には、その都度対応を検討していくこととした。（資料 2 参照）

3. OAS による緊急時ストーマ用品無償提供で対応するため、災害対策ブロック連絡網をとおして、インフォメーションをすることになった。また、ストーマ保有者、医療者より要請があった場合には各メーカー営業所、販売店で個別に対応する。

4. 今後、OAS 無償提供、その他の個別的支援を行った件数は OAS でまとめて報告を受けることになった。報告目安は災害発生から 2 ヶ月とする。また、災害対策支援情報を共有するために各メーカーのホームページに JSSCR 災害対策へのリンクを載せることを検討することとした。

5. 災害時の OAS-JSSCR 合同会議について、東京が被災地になった場合、JSSCR では他地域の災害対策代表が決められている。大阪や名古屋等で会議が開催できるよう、各メーカー他地域で副代表を決定しておくことになった。

## 第 39 回日本ストーマ連絡協議会

## 直近の災害支援報告

2018/07/31 OAS

## 【平成 30 年大阪府北部地震】

- ・ 地震発生日 :2018/6/18
- ・ 災害救助法発令:2018/6/18(第 1 報)
- ・ 当該地区販売店:3 社 3 支店ー被害無く通常営業可能を確認
- ・ 被災者への支援:

社名	人数
アルケア	0名
イーキン	0名
コロプラスト	0名
コンバテック	0名
ソルブ	0名
ホリスター	1名
村中医療器	0名
合計	1名

## 【平成 30 年 7 月豪雨】

- ・ 豪雨発生日 :2018/7/6
- ・ 災害救助法発令:2018/7/6(第 1 報) ※最新ー第 15 報
- ・ 当該地区販売店:23 社 48 支店ー被害無く通常営業可能を確認

エリア	販売店	支店
岡山県	4	10
広島県	3	10
鳥取県	3	6
高知県	2	2
愛媛県	2	3
兵庫県	3	6
京都府	3	6
岐阜県	3	5
合計	23	48

- ・ 被災者への支援:

社名	人数
アルケア	2名
イーキン	0名
コロプラスト	2名
コンバテック	0名
ソルブ	0名
ホリスター	1名
村中医療器	0名
合計	5名

以上